

愛知県公立高等学校PTA連合会

高P連だより

vol.82
2013

◆事務局◆
 名古屋市中区新栄一丁目49番10号
 愛知県教育会館6階
 TEL: <052>261-5886
 FAX: <052>241-7048
 【印刷】
 手島印刷株式会社
 TEL: <052>522-1635



PTAの皆様へ

愛知県知事

大村 秀章

愛知県公立高等学校PTA連合会の皆様には、日頃から本県の教育活動の充実に格別のお力添えを賜り、深く御礼申し上げます。また、本年で第2回目となりました、国際芸術祭「あいちトリエンナーレ2013」が大盛況のうち閉幕を迎えることができましたことは、貴連合会を始め、多くの皆様の御理解と御支援の賜物であると感謝いたしております。



さて、来年2014年は、「持続可能な開発のための教育(ESD)」に関するユネスコ世界会議」があいち・なごやで開催されます。これは、2005年～2014年までの10年間に世界中で取り組ま

れたESDの成果を取りまとめるもので、国内外から関係級を含む約千人が集まる非常に大きな世界会議となります。この会議は、次代を担う青少年にとつて、世界や未来に視野を広げる大きな契機となりうるものであります。皆様にも、ESDが、将来世代にわたり、すべての人が安心して暮らすことのできる社会づくりを寄与するものであることを御理解いただきながら、この会議を、万全の準備をもって進めていきたいと考えております。

また、今年度は特に、いじめ・暴力対策に重点をおいて、様々な教育キャンペーン活動を進めてまいりました。いじめ・暴力の未然防止や早期発見のためには、家庭・地域・学校が互いに連携することが重要です。今後とも、皆様には、なお一層の御協力と御支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



愛はほほえみから

愛知県公立高等学校PTA連合会

副会長 瀧村 めぐみ

旭丘高等学校PTAの瀧村と申します。日頃は、県高P連の活動に、ご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

ほほえんでいますか

ある学校の「スクールミラー」と呼ばれる鏡に書かれている言葉です。いらいらしたり、くよくよししたりしたときに、鏡の中の自分を見つめ、気持ちをリセットするために設置されているそうです。

ほほえむことを忘れちゃいけない

涙は今もこぼれているが

忘れちゃいけないほほえむことを

(やなせたかし)

ほほえみは、何の憂いも悲しみもない人が持つ特権ではありません。人生、様々なことが起こります。予期せぬ不幸や災難に見舞われることもあります。そのような状況から生まれるほほえみは、一層尊いもののように思われます。

精神医学者であり、『夜と霧』の著者として名声を博したV・E・フランクル氏によると、極限の収容所生活を生き抜くことができたのは、生きる意味を失わなかった人たちだけだそうです。どうにもならない不条

理に対して、自分はいかにあるべきか、それをどのように受け止めて生きていくのか、という厳しい覚悟と揺るぎない主体性が問われます。

『ライフイズビューティフル』という映画を思い出します。苦難の中にあっても、それらの物事に意味を与えることができるという、人間の持つ崇高な力を感じられる感動的な作品です。逆境においてさえ、ほほえむことのできる人間が、人間の素晴らしさなのです。

それはきれいな薔薇いろで、芥子つぶよりかちいさくて、こぼれて土に落ちたとき、ぱつと火花がはじけるように、おおきな花がひろくのよ。もしも涙がこぼれるように、こんな笑いがこぼれたら、どんなに、どんなに、きれいでしよう。

(金子みすゞ)

こんなほほえみができたら、どんなに素敵でしょう。ほほえみは人々に、心の平安と喜びをもたらす、更なるほほえみを生みます。ほほえみという美しい花が至る所で咲き誇り、愛に満ち溢れた世の中となるよう願ってやみません。

全国高等学校PTA連合会
山口大会に参加して



西三地区
愛知県立岡崎西高等学校
PTA会長
本多 友和

「夢から志へ」をテーマとした今年の山口大会は、長州藩が幕末5人の藩士を秘密留学させ、その後、明治日本の近代化をリードしたという内容のビデオ紹介で始まりました。

東海地区高等学校PTA連合会
静岡大会に参加して

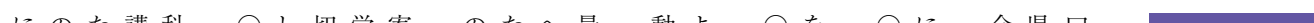


東三地区
愛知県立時習館高等学校
PTA会長
青山 泰三

6月21日、東海地区高等学校PTA連合会静岡大会に参加致しました。開会式の後、静岡県舞台芸術センター芸術総監督の宮城聡さまの「演劇と青春」と題した講演があり、その後静岡県立浜松西高等学校、岐阜県立大垣工業高等学校の取り組み事例をお伺いしました。

を目指す教育再生への熱い思いをビデオメッセージで語られ、続く下村文科相は、グローバル人材養成のため、小学校からの英語教育の充実、大学入試へ英語資格試験の導入、スーパーグローバルハイスクール設置構想などの教育政策を説明されました。

講演では、携帯電話やネットの急速な普及に伴い、コミュニケーションもネット上で済ませ、人との対面で感じる緊張感を体験することが少なくなり、実社会への適応に苦しむ若者が増えているとのことでした。そんな中、体全体で表現する演劇活動には、自分と他人の多様性を理解し、共生の心を育む力があることを知りました。



全国大会報告

第63回全国高P連山口大会
平成25年8月22日(木)
山口県スポーツ文化センター他

第63回全国高等学校PTA連合会大会山口大会が「夢から志へ」をテーマに、山口県スポーツ文化センターを主会場として7会場において開催されました。

開会式及び基調講演などの様子は各会場にネットで中継されました。

開会式前のアトラクション
地元の小中学校で在学中に吉田松陰の言葉を朗誦する実践が紹介され(写真)ました。

相川順子会長が挨拶の中でPTA活動によって「子供を守り、子供を中心とした活動を続ける」ことを呼びかけました。

来賓祝辞では下村博文文科相が、最近の日本の子供の自己肯定感が低く将来への希望を持っていない現状の中で、子供たちが大志を抱き心に熱い灯をともし教育の再生を訴えました。

また安倍晋三首相がビデオメッセージを寄せて、家庭と学校の連携の大切さを強調しました。

○基調講演
下村博文文科相が基調講演を行いました。大臣は教育の再生のため



吉田松陰の言葉を朗誦する地元小学生

クリエイティブな、自律的に考え行動し、思いやりのある人間の育成を重視すること。また日本人が内向きになっている現状への反省から、今後はグローバルな人材の育成を目指すと言いました。

グローバル大学・高校の指定、国際バカロレア認定高校の指定などの施策により、大志をもって国境を超える若者が出ることを期待しています。

○記念講演
分科会が開催される各会場で記念講演が行われ、山口県健康づくりセンターでは「吉田松陰の志教育」と題して、一坂太郎氏(萩博物館特別学芸員)と上田俊成氏(松陰神社宮司)による対談がありました。

吉田松陰の教育者としての側面に光が当てられ、松陰は学問をとおして自分の真骨頂を求め、どんな人間になるかを見つめ自分の価値を發揮するために努力することを教えたこと、松陰の人間性に惹かれて弟子たちがついていったことなどのお話があり、興味深いものとなりました。

○分科会
第3分科会では「生徒指導とPTA」というテーマで新潟県、岐阜県、熊本県のPTAから貴重な実践発表がありました。

○開会式での表彰(愛知県関係)
文部科学大臣表彰
優良PTA・春日井南高校PTA
PTA活動振興功労者
関鋼太郎、松山栄司、長坂光司、榎本実

愛知工業高校PTA
内海高校PTA
碧南高校PTA

学校紹介

愛知県立杏和高等学校PTA



「本校全景」



杏和高校PTA 愛知県立大学 見学

本

校は平成十七年四月、平和高校と祖父江高校が統合され、祖父江高校の校地に創設されました。愛知県立で四番目、尾張西部地では最初の全日制総合学科高校で、豊かな緑や田園に囲まれたのどかな環境の中にあります。また本校の位置する祖父江町は、銀杏の木が町のあちこちに見受けられ、銀杏の日本有数の産地として有名です。現在各学年総合学科六クラスで、豊かな人間性をはぐくみ、たくましく生き抜く力を養い、確かな学力を培うことを教育目標として掲げ、様々な教育活動が展開されています。国公立大学から就職まで、多様な生徒の進路希望の実現を目指

す教育を日々行っており、平成十九年度から平成二十一年度にかけては、文部科学省のキャリア教育研究推進校の指定も受けました。私たちPTAの年間主な活動を紹介します。研修・進路・生徒愛護・部活動・広報の各専門委員会、手芸講習会、交通安全指導(年二回)、防犯パトロール(年三回)、進路見学会、広報誌「ふれあい」の発行(年三回)、学校祭飲食バザー、研修旅行、三年生を送る行事、優秀部活動表彰などです。

来年度は、杏和高校創立十周年を迎えます。杏和高校発展の為に、先生方と共に歩み支え合って活動していきたいと思っています。

来

年2014年に「持続可能な開発のための教育に関するユネスコ世界会議」があいち・なごやで開催されますが、持続可能な開発のための教育(ESD: Education for Sustainable Development)が家庭や地域と大きく関わっているという認識はまだ低いようです。

持続可能な開発のための教育(ESD)とは「持続可能な社会の担い手づくりを育む教育」とも言われ、環境、貧困、人権、平和、開発といった、現代社会の様々な課題を自らの問題として捉え、身近なところから取り組むことにより、それらの課題の解決につながる新たな価値観や行動を生み出すこと、そして、それにより持続可能な社会を創造していくことを目指す学習や活動のことです。新学習指導要領にも持続可能な社会の実現をめざす学習について記載されており、次代を担う若者の育成にとって重要な視点です。例えば、学校では環境学習として近隣の川の生態系調査をしたり、異文化理解として留学生と交流したり、地域連携として近隣の商店街とともに社会参画をしたりします。これらの特色ある教育活動を通じて、現在の地域課題を把握し、解

持続可能な社会をつくるために

愛知県教育委員会 生涯学習課



決のために自分は何ができるかを考え、実際に行動していくことにより、生徒たちは多くのことを体験します。こうして、人と自然、人と人との共存や多様な生き方を学ぶことにより、将来、社会の一員としてもつべき認識や行動力を身に付けていきます。

しかし、これは学校教育だけでなく、できることはありません。学校外の地域の多様な人との触れ合いや家庭における日々の生活の中で生徒たちは新たな視点に気付き、主体的に行動することが可能になります。異世代や異文化の人たちと出会って自分とは違う考えを知り、見過ごしていた身近な課題が地球規模の課題と結びつくことを実感するためには、それを紡ぎ出す地域コミュニティや家庭が必要です。是非、皆様には家庭や地域の中で子どもたちを「持続可能な社会の担い手」として育むよう御協力いただきたいと思っています。

生涯学習課では、自己を高め、地域とつながり、未来を築く生涯学習社会の実現を目指しております。保護者の皆様におかれましても、御自分の生活を豊かにするとともに、家庭や地域における青少年の育成への御協力をお願いいたします。

『こころの電話』^{教育相談}

公益財団法人 愛知県教育・スポーツ振興財団

クローナイ
☎ 052-261-9671

「教育相談こころの電話」は、青少年とその保護者を主な対象とした電話相談です。相談を通して、不安や悩みの自主的な解決を援助することを目的としています。昨年度一年間で10,518件の相談がありました。相談を受けるのは、研修を積んだボランティア相談員です。名前を告げる必要はありません。また、相談内容が周囲に知られることは絶対にありませんので、安心して相談できます。

相談時間は、午前10時から午後10時までです。(ただし、年末年始は除きます。)

高校生からの相談内容

平成24年度に寄せられた高校生からの相談は783件で、全体の約7.4%でした。

最も多い相談は性に関する相談で190件あり、高校生からの相談の約24%を占めます。やはり、家族や先生には相談しにくい内容だからだと思います。二番目に多い相談内容は、健康・不安で128件16%、三番目が家族関係で126件16%となっています。

なお、平成23年度の相談件数が多い内容の順位も、平成24年度と同様となっています。

高校生の保護者からの相談内容

平成24年度に寄せられた高校生の保護者からの相談は821件で、全体の約7.8%でした。

最も多い相談は子どもの性格や行動に関する相談で154件あり、高校生の保護者からの相談の約19%を占めます。

お知らせ

当財団では、このほかにも「不登校」と「発達障害」をテーマに、専門家を講師に迎えて、保護者が基礎的な知識や子どもへの対応の方法を学ぶ面接相談事業を実施しています。

興味のある方は下記のホームページをご覧ください。

[あいち教育スポーツ](#)

検索

す。この性格・行動の相談には、不登校の問題も含まれています。保護者の方が一番困り悩んでいるので、相談件数も多いと思われます。二番目に多い相談は、学校生活で135件16%、三番目が家族関係で117件14%となっています。

なお、平成23年度の相談件数が多い内容の順位は、一・二番目については平成24年度と同様ですが、三番目は健康・不安となっています。

事務局だより

愛知県教育公務員弘済会奨励金

7月24日(水)、高P連理事会の席で名古屋南高校、一宮興道高校、武豊高校、豊田工業高校、豊橋西高校の各PTAにそれぞれ10万円が、PTA活動を助成するため贈呈されました。

平成25年度東海大会報告

6月21日(金)に静岡市民文化会館において、愛知県から601名の参加で開催されました。

講演

「演劇と青春」 宮城 聡氏

研究協議

「進路指導とPTA」

静岡県立浜松西高校PTA

「生徒指導とPTA」

岐阜県立大垣西高校育友会

○来年度の東海大会は愛知県で開催されます。

期日…平成26年6月20日(金)
会場…名古屋市公会堂

○来年度の第64回全国高等学校PTA連合会福井大会について

平成26年8月22日(金)、23日(土)に開催されます。現段階での実施要

項は福井大会実行委員会のホームページをご覧ください。

ホームページをご覧ください



<http://www.aichikoupren.org>

愛知県高P連

検索

編集後記

○全国大会が山口県で一日日程で開催されました。参加申込みではご面倒をおかけしました。来年度もWEBによる申込みをお願いいたします。

○山口大会で小学生が吉田松陰の言葉を真剣に朗誦する姿には感銘を受けました。郷土に誇れる偉人があることは、幸せなことだと思います。

